

たのしいプリントだ！



たしざんをしましょう。

$$1 + 5 =$$

$$6 + 5 =$$

$$2 + 5 =$$

$$7 + 5 =$$

$$3 + 5 =$$

$$8 + 5 =$$

$$4 + 5 =$$

$$9 + 5 =$$

$$5 + 5 =$$

$$7 + 5 =$$

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

たしざんをしましょう

$$4 + 5 =$$

$$8 + 5 =$$

$$1 + 5 =$$

$$7 + 5 =$$

$$9 + 5 =$$

$$5 + 5 =$$

$$2 + 5 =$$

$$3 + 5 =$$

$$6 + 5 =$$

$$5 + 5 =$$

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

せん
線でむすびましょう。

はな
花より

はつ めい はは
発明の母



はや お
早起きは

だん ご
団子



ひつ よう
必要は

さん もん とく
三文の徳



ひ
火のない
ところに

こま で
駒が出る



ひょうたん
から

けむり た
煙は立たぬ



せん
線でむすびましょう。

ひつ よう
必要は

ひょうたん
から

はな
花より

ひ
火のない
ところに

はや お
早起きは

だん ご
団子



けむり た
煙は立たぬ



はつ めい はは
発明の母



さん もん とく
三文の徳



こま で
駒が出る



せん
線でむすびましょう。

はな だん ご
花より団子

はや お
早起きは
さんもん とく
三文の徳

ひつ よう
必要は
はつ めい はは
発明の母

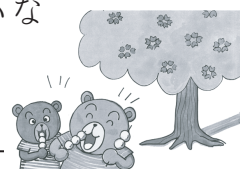
ひ
火のないところ
けむり た
に煙は立たぬ

ひょうたんから
こま で
駒が出る

かんが
とてもほしくて、考えたら
ひらめいた！



ふうりゅう み ほう
風流なものより実のある方
がいいな



はや お
早起きしたら、いいことが
ありそうだ



おも
思いがけないことで
びっくり！



げん いん
うわさがたつのは、原因が
あるからだ



せん
線でむすびましょう。

ひつ よう
必要は
はつ めい はは
発明の母

な より じつり
名より実利をとること。



ひようたんから
こま で
駒が出る

はつ めい ひつ よう う
発明は必要から生まれる。



ひ
火のないところ
けむり た
に煙は立たぬ

はや お
早起きをすると、よいこと
がある。



はな だん ご
花より団子

おも
思いがけない結果になる
こと。



はや お
早起きは
さん もん とく
三文の徳

じ じつ
事実がなければ、うわさ
が立つはずがない。



なまえ

かけざんをしましょう。

$$6 \times 1 = 6$$

$$6 \times 2 =$$

$$6 \times 3 =$$

$$6 \times 4 =$$

$$6 \times 5 =$$

6	12	18	24	30
---	----	----	----	----

かけざんをしましょう。

$$6 \times 5 =$$

$$6 \times 6 =$$

$$6 \times 7 =$$

$$6 \times 8 =$$

$$6 \times 9 =$$

30

36

42

48

54

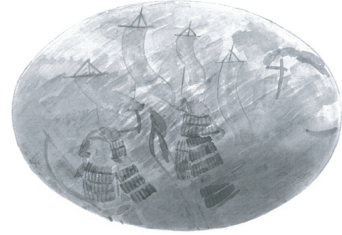
ロコモ 8-9

なまえ

せん
線でむすびましょう。

なつあらし
夏嵐

つわもの
兵どもが
ゆめあと
夢の跡



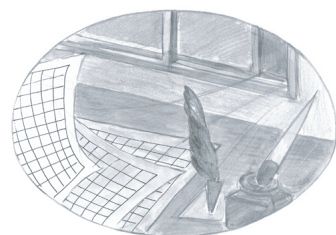
なつくさ
夏草や

うかさ
打ち重なりぬ
にさんぺん
二三片



ぼたんち
牡丹散って

きじょうはくし
机上の白紙
とつ
飛び尽くす



ロコモ 8 - 10

せん
線でむすびましょう。

なまえ

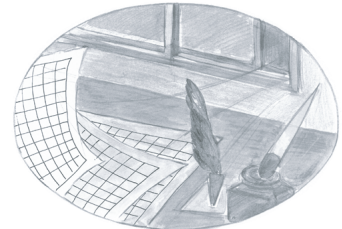
ぼ たん ち
牡丹散って

う かさ
打ち重なりぬ
にさんぺん
二 三 片



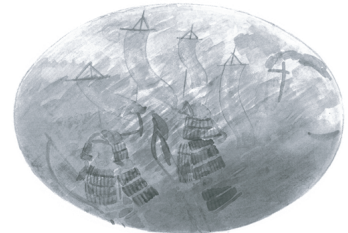
なつくさ
夏草や

きじょう はくし
机上の白紙
と つ
飛び尽くす

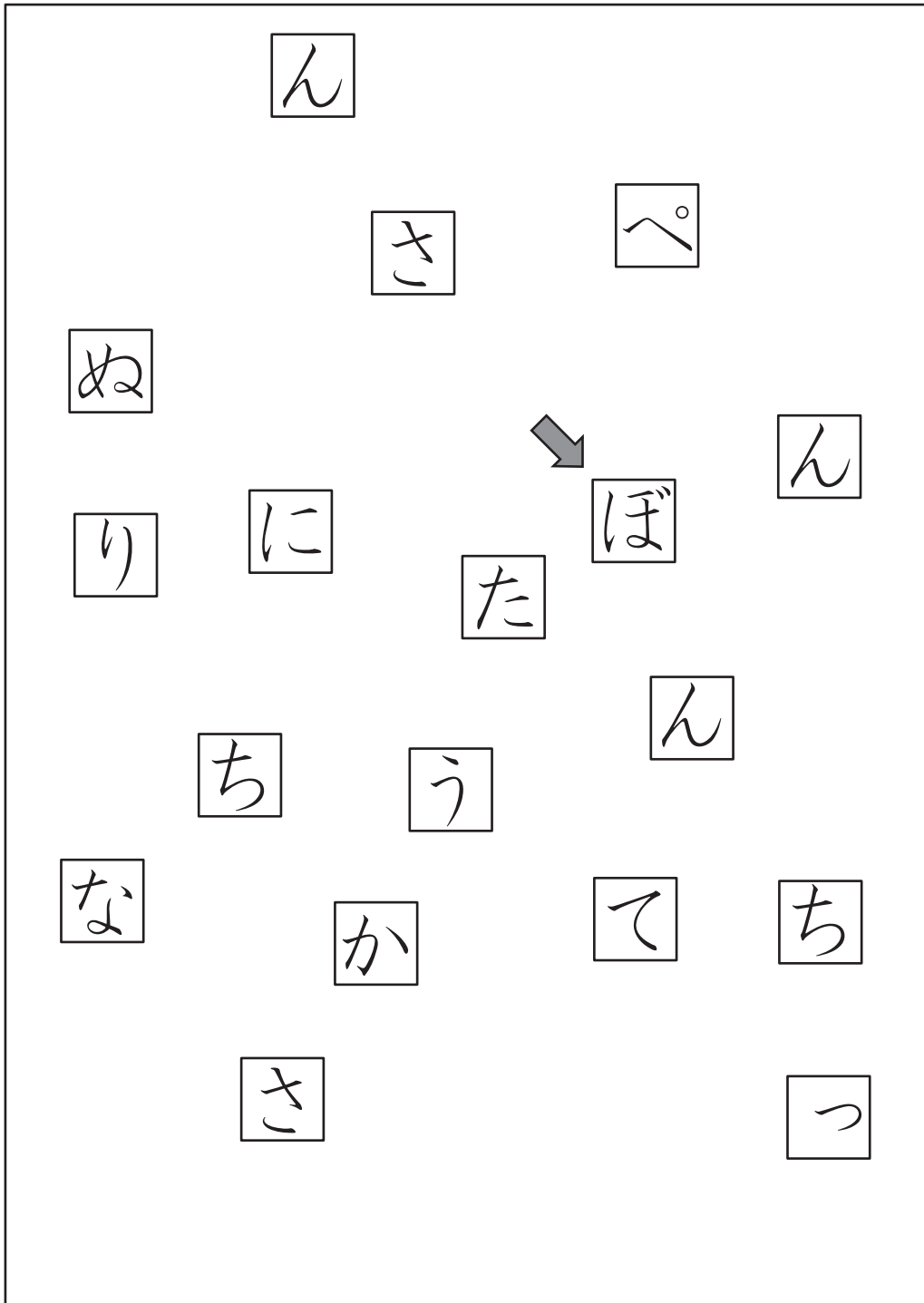


なつあらし
夏嵐

つわもの
兵どもが
ゆめ あと
夢の跡

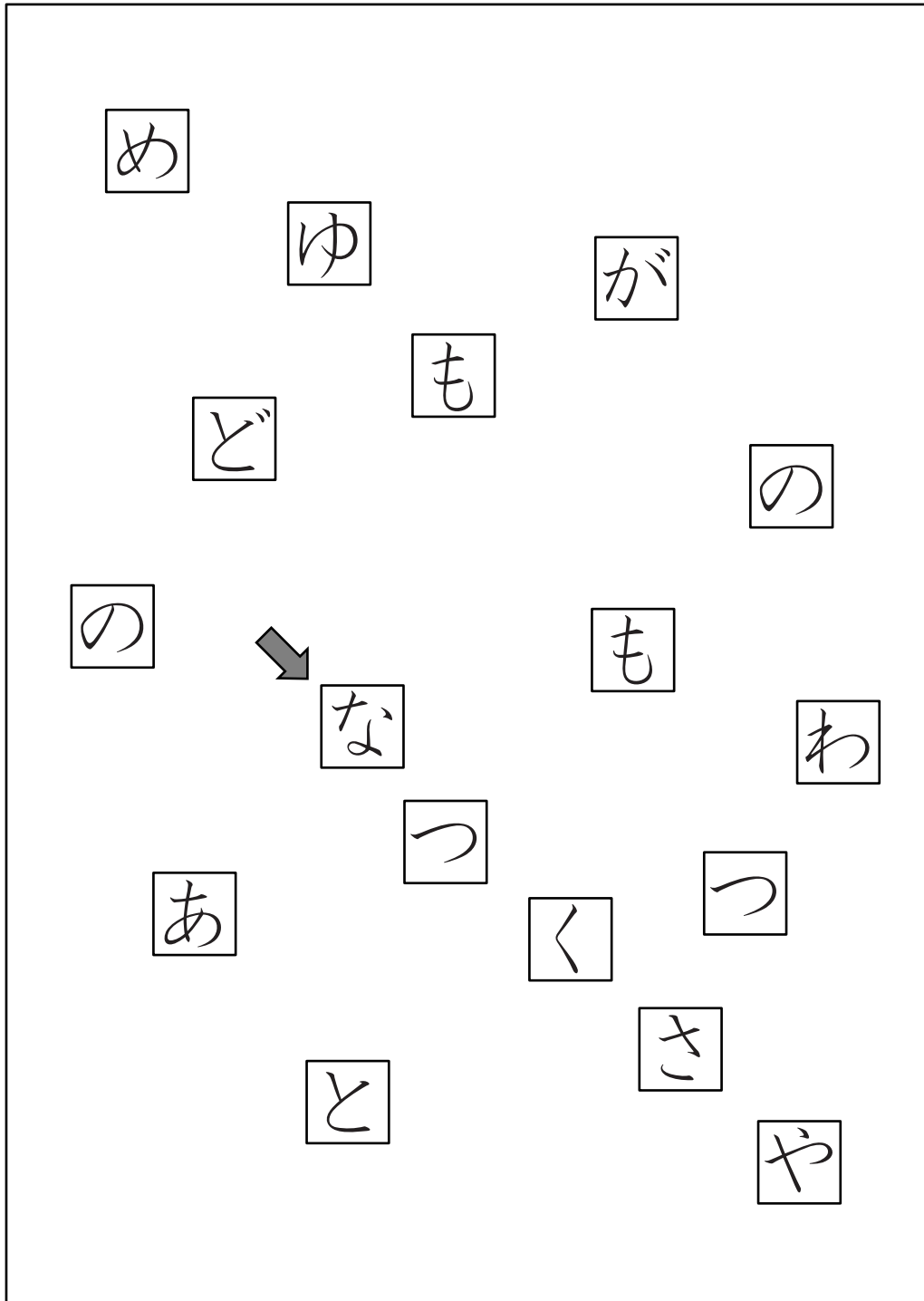


せん
線でむすびましょう。



ぼたんちってうちかきなりぬ
・
・
・
・

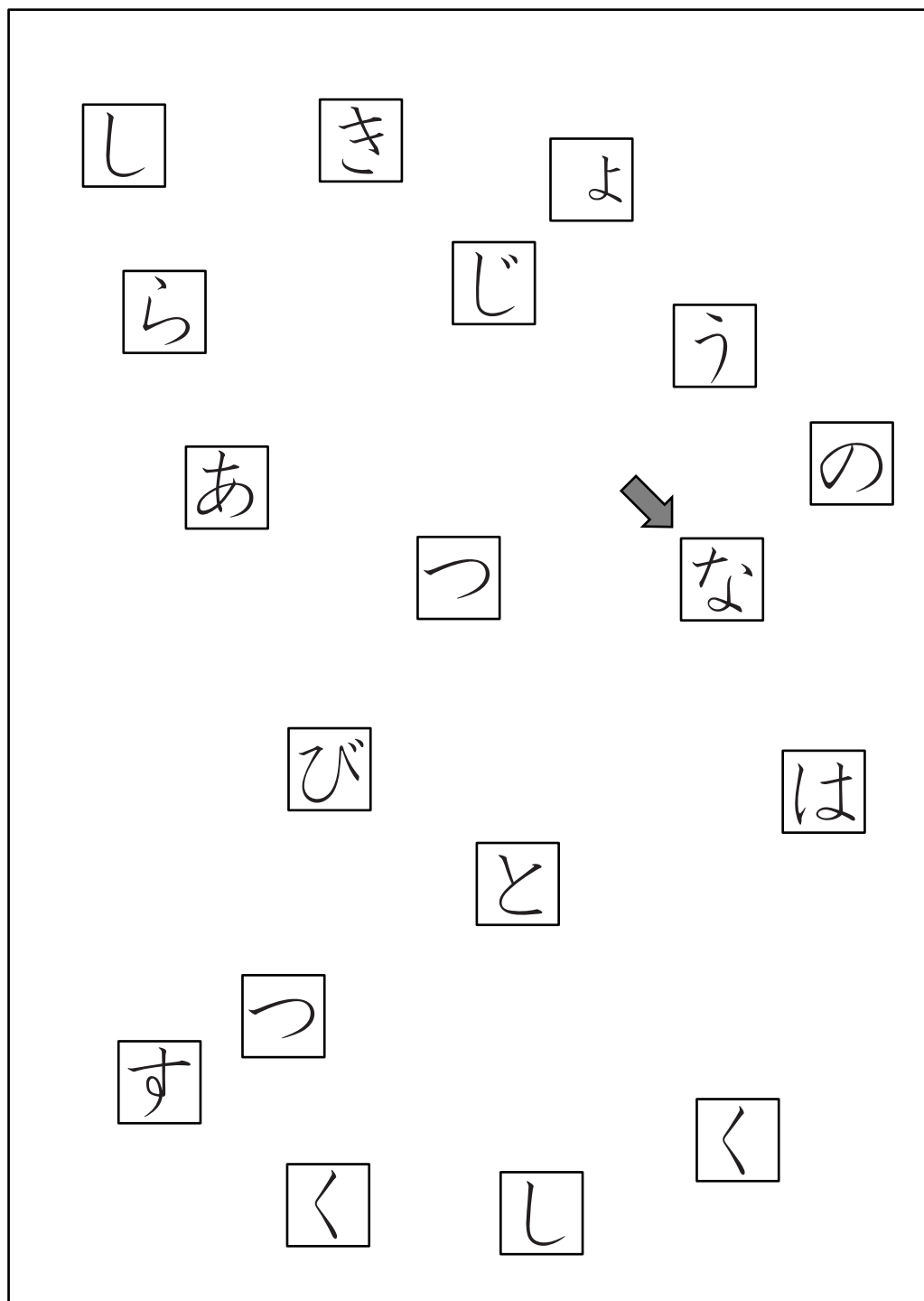
せん
線でむすびましょう。



なつくさば.....

せん
線でむすびましょう。

な
つ
あ
ら
し
・
・
・
・
・



なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

与 ^よ 謝 ^さ 蕪 ^ぶ 村 ^{そん}	□ さ ^さ ん	う □ か さ □ り □	ぼ □ ん □ っ て
	ん		

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

つ

つ

く

も

ゆ

の

や

め



も

と

松^{まつ}
尾^お
芭^ば
蕉^{しょう}

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。



L

じ

ト

う

は

 \angle

□

び

<

す

まさおかしき
正岡子規

せん
線でむすびましょう。

なまえ

いっ ちよう
一 挺

は
し



いっ ぽん
一 本

そ
ろ
ば
ん



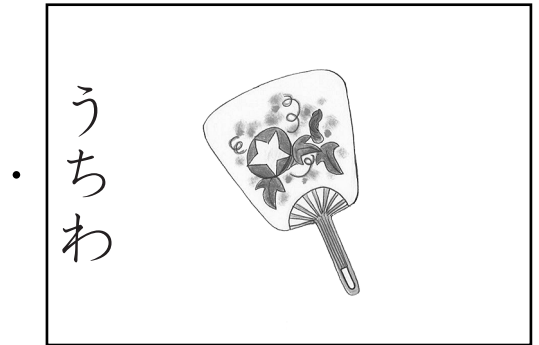
いち ぜん
一 膳

う
ち
わ

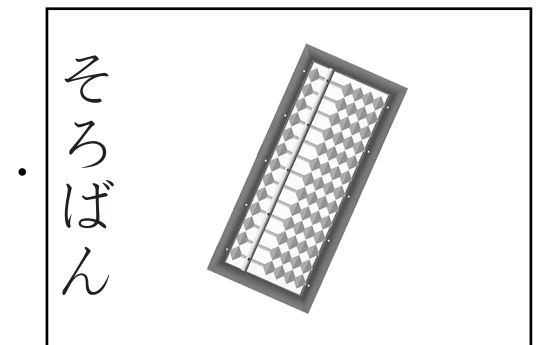


せん
線でむすびましょう。

いっ ぽん
一本



いち ぜん
一膳



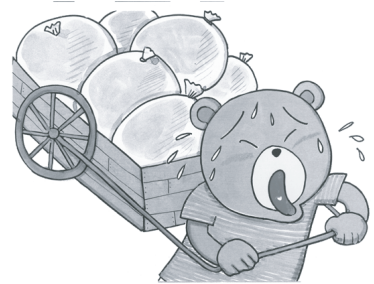
いっ ちよう
一挺



せん
線でむすびましょう。

いのち
命

をだす



こころ
心

せんたく
洗濯



あご

をくむ



線^{せん}でむすびましょう。

ころ
心をくむ

とてもつかれたなあ



だ
あごを出す

パーッと^{きば}気晴らしだ



いのち^{せん}の洗濯^{たく}

あいて^{きも}相手の気持ちをわかうね



せん
線でむすびましょう。

だ
あごを出す

いのち せん たく
命の洗濯

こころ
心をくむ

なまえ

ひごろ くろう わす
日頃の苦勞を忘れるために、
きは
氣晴らしをする。



あいて き も り かい
相手の気持ちを理解する。



つか よう す
とても疲れる様子。



なまえ

下^{した}から選^{えら}んで慣^{かん}用^{よう}句^くをつくりましょう。

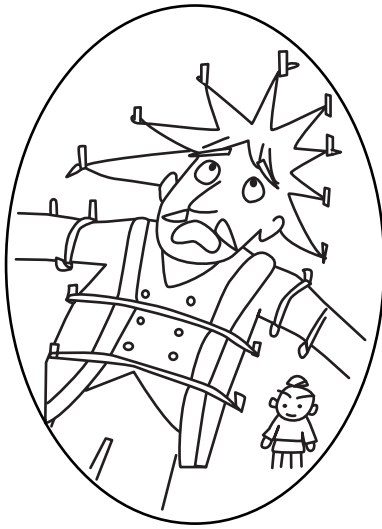
せん たく
の洗濯

をだす

をくむ

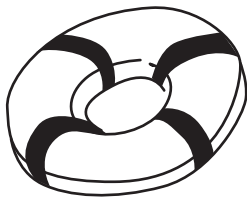
こころ いのち あご

ガリバーがのっていた船ふねはどうして沈しずんだのですか？

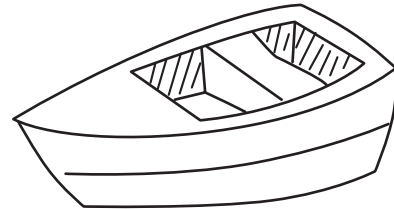


- 1 巨人きょじんに船ふねごとひっくり返かえされたため。
- 2 嵐あらしにあったため。
- 3 岩いわにぶつかったため。

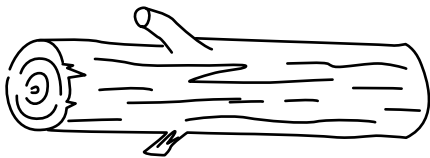
船^{ふね}がしずみ、暗^{くら}い夜^{よる}の海^{うみ}になげだされたガリ
バーは、何^{なに}につかまって泳^{およ}いでいましたか。



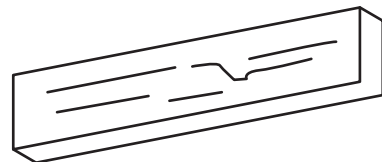
うきわ



ボート



ぼん まる た
1 本の丸太



1 まいの木切れ

線^{せん}でむすびましょう。

わが^{そで}袖は
潮干^{しおひ}に見えぬ 沖^{おき}の石^{いし}の



恋^{こい}に朽^くちなむ^ん
名^なこそ惜^おしけれ

かくとだに
えやはいぶきの さしも草^{ぐさ}



人^{ひと}こそ知^しらね
乾^{かわ}く間^まもなし

高砂^{たかさご}の
尾上^{おのえ}の桜^{さくら} 咲^さきにけり



さしも知^しらじな
燃^もゆる思^{おも}ひを^い



恨^{うら}みわび
干^ほさぬ袖^{そで}だに あるものを



外山^{とやま}の霞^{かすみ}
立^たたずもあらなむ^ん



線^{せん}でむすびましょう。

かくとだに
えやはいぶきのさしも草^{ぐさ}

こい 恋に 朽^くちなむ^ん
名^なこそ 惜^おしけれ

わが袖^{そで}は
潮^{しお}干^ひに見えぬ 沖^{おき}の石^{いし}の

と やま かすみ
外^と山の霞^{かすみ}
立^たたずもあらなむ^ん

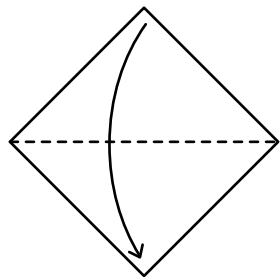
恨^{うら}みわび
干^ほさぬ袖^{そで}だにあるものを

さしも 知^しらじな
燃^もゆる 思^{おも}ひを^い

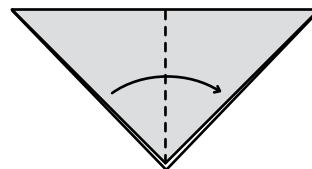
高^{たかさ}砂^ごの
尾^{おの}上^えの桜^{さくら} 咲^さきにけり

ひと 人こそ 知^しらね
乾^{かわ}く 間^まもなし

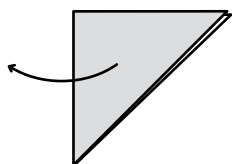
《ひよこ》



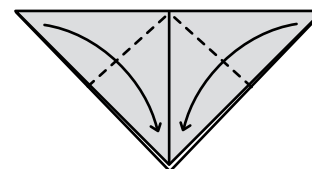
1 さんかくに おる



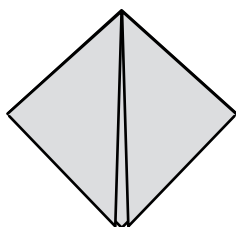
2 もういちど さんかくに おる



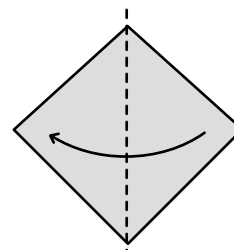
3 2になるように もとに ひらく



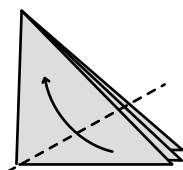
4 さゆうを したの さんかくに あわせるように おりたたむ



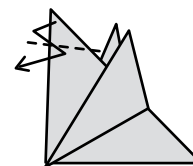
5 うらがえす



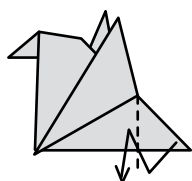
6 はんぶん に おる



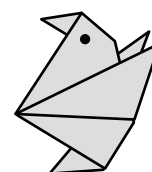
7 うえの 1まいを ななめに たに おりする
うらがわの 1まいも おなじように おりあげる



8 なかわりおりを する



9 なかわりおりを する



ひよこの かんせい

